

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 崇徳会

高齢者総合ケアセンター

マザーアース

目次

1. 施設の概要・沿革	1
2. ケア報告	5
3. 苦情報告	9
4. 安全衛生委員会	10
5. 特別養護老人ホーム	11
6. 在宅支援について	16
7. 施設内事故報告	21
8. ボランティアの受入状況	23
9. 実習の受入	24
10. 職員研修	25
11. 健康管理	30
12. 居宅介護支援事業所	35
13. 地域包括支援センター	36
14. あんしんセーフティネット事業	38

1. 施設の概要

- (1) 名 称 社会福祉法人 崇徳会
高齢者総合ケアセンター マザーアース
- (2) 所 在 地 埼玉県ふじみ野市大井621-1
- (3) 開 設 平成5年8月1日
- (4) 事業所(定員) 介護老人福祉施設(56名) 短期入所生活介護(14名)
通所介護(25名)
居宅介護支援事業所 高齢者あんしん相談センター
- (5) 敷地面積 4,430.53㎡
- (6) 建物面積 RC造2階建て 2,377.77㎡
- (7) 職 員 数 施設長 1名 副施設長 2名 事務員 4名
相談員 2名 看護師 6名 ケアワーカー 37名
主任介護支援専門員 2名 介護支援専門員 4名 社会福祉士 1名
管理栄養士 1名 調理員 8名 社会貢献支援員 1名
施設管理 3名 委託医(非常勤) 2名
- (8) 業務内容 心身に障害があるなど介護保険に該当する65歳以上の第一号被保険者及び40歳以上65歳未満の第二号被保険者(心身に障害があり、その原因となる疾患が特定疾患と認定された者)で、要介護状態と認定された者に対する必要な介護サービスを行う。

2. 沿革

- 平成5年7月 社会福祉法人 崇徳会 認可
理事長に 野溝 伊之助 就任
- 7月 特別養護老人ホーム マザーアース 認可
施設長に 田貝 邦子 就任
- 8月 マザーアース開設
- 10月 デイサービス開設
- 平成6年7月 社会福祉協議会特別会員入会
- 平成7年8月 夏祭り開催(近隣住民招待)・家族会の発足
- 平成8年8月 三周年記念夏祭り開催(近隣住民・ボランティア等招待)
- 平成9年4月 在宅介護支援センター開所
- 9月 施設長 田貝 邦子 退任
- 10月 施設長 野溝 守 就任
- 平成10年8月 開所5周年記念行事
- 平成11年10月 居宅介護支援事業所開設
- 平成12年4月 介護保険事業による通所介護・短期入所生活介護・訪問介護を開始。
併せて施設名称を社会福祉法人崇徳会 高齢者総合ケアセンター
マザーアースと改める。
- 平成13年4月 通所介護事業の定員を20名から25名に増員。
- 10月 申出窓口及び第三者委員の設置
- 平成14年8月 開設10周年記念行事

	9月	埼玉県共同募金会「共同募金受配要望事業」により 送迎リフト車整備
平成15年	3月	入所制度の改革により入所検討委員会を設置
	4月	短期入所生活介護事業の定員を16名から20名に増員 訪問介護事業を廃止する。
平成16年	2月	日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
	5月	郵政省「社会福祉事業」により特殊機械浴槽チェアインバス整備
平成17年	10月	大井町・上福岡市が合併によりふじみ野市となる
平成18年	4月	介護保険制度の改正により、地域支援事業（介護予防事業）が 制度化される
平成19年	3月	在宅介護支援センター閉所
	3月	理事長 野溝 伊之助 退任
	4月	理事長 野溝 守 就任
	4月	地域包括支援センター開所
平成20年	3月	開設15周年記念行事 「堀田 力氏」講演 共催 大井町社会福祉協議会（大井町社会福祉協議会歳末福祉事業配分事業）
	6月	本田技研労働組合研究所支部よりステップワゴン寄贈
平成21年	2月	日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
平成22年	2月	介護老人福祉施設事業の定員を50名から56名に増員する 短期入所生活介護事業の定員を20名から14名に変更する
	10月	埼玉県 生活保護世帯の学習支援事業スタート
平成23年	3月11日	14時46分 東日本大震災の発生 原発事故の被災者受け入れ
	12月	第5回埼玉県高齢者福祉研究大会 分科会にて 「終末の方のデｲフゐズ利用について」の研究発表を行う。
平成24年	6月	介護職員等による喀痰吸引等の実施の体制整備（認定者6名）
平成25年	5月	社会福祉法人として「彩の国あんしんセーフティネット事業」に 取り組む
	7月	生活保護世帯の就労体験 3名受け入れ
	8月30日	「マザーアース 開設20年記念パーティー」 開催
平成26年	2月	「介護の魅力PR隊」へ参加
	8月	「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 着工
	9月	「彩の国あんしんセーフティネット事業」 開始 埼玉県第2ブロック拠点施設となる。 「埼玉県高齢者福祉研究大会」にて 「高齢者施設で定着しない同性介助について」 研究発表を行う。
	10月	「ふじみ野市介護支援ボランティア制度」開始 ふじみ野市より受け入れ施設として指定される
平成27年	1月	「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 竣工 赤い羽根 平成26年度事業共同募金交付事業による ナースコール設置

- 3月 マザーアース ホームページ 開設
「福祉の心を育む交流事業」ふじみ野市教育委員会にて
各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ学校図書の
購入費を寄付
- 9月 「埼玉県高齢者福祉研究大会」分科会にて
「介護現場における声掛けについて」研究発表を行う
- 平成28年 3月 「福祉の心を育む交流事業」にて
各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ
- 8月 埼玉県多様な働き方実践企業ゴールド認定
- 10月 喀痰吸引等の実施の体制整備（認定者2名）
- 11月 公益財団法人埼玉県産業文化センターと日本フィルハーモニー
交響楽団の共催による「日本フィルハーモニー交響楽団弦楽
四重奏コンサート」の開催
- 12月 赤い羽根 平成28年度事業共同募金交付事業による
アプローチ舗装工事竣工
- 12月 「関東郵便局長会」よりおせち料理が寄贈される
- 平成29年 2月 「福祉の心を育む交流事業」にて東原小と交流
マザーアースにて演奏会を開催
- 3月 「福祉の心を育む交流事業」にて大井中と交流
マザーアースにて音楽部による合唱会を開催
- 3月 「福祉の心を育む交流事業」にて
各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ
学校図書の購入費を寄付
- 4月 「日産プリンス埼玉販売(株)」様より社会貢献活動の一環として
車いす1台寄贈される。
- 6月 公益財団法人JKA主催リングリングプロジェクト・オートレース補助事業
による、特殊浴槽（寝位浴槽）を設置
- 9月 「関東ブロック老人福祉施設研究総会」において
「心地よい居場所づくり」の研究発表を行う
- 9月 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
見守りケアシステム内蔵、低床3モーターベッド3台購入
- 9月 デイサービスの送迎車を新たに購入（リース）
- 9月 「福祉の心を育む交流事業」にて、東台小学校と交流
5年生を対象に「福祉」についての説明会を開催
- 11月 「福祉の心を育む交流事業」にて
東台小学校児童とマザーアースにて交流会を開催
- 12月 居宅介護支援事業所・高齢者あんしん相談センターの
外壁塗り替え工事開始
- 12月 埼玉県高齢者福祉研究大会にて
「レクリエーションの楽しみ方について」の研究発表
作品展のデイサービス利用者様の作品を出品

平成30年1月 居宅介護支援事業所・高齢者あんしん相談センターの
外壁塗装終了

2月 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
介護ロボット「ハル」を2台購入（リース）

3月29日納品

「福祉の心を育む交流事業」にて

3月 大井中と交流

マザーアース内にて合唱部による音楽会を開催

3月 東台小と交流

マザーアース内にて音楽クラブによる合唱会を開催

3月 「福祉の心を育む交流事業」にて

各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ
学校図書の購入費を寄付

4月 「介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト」参加

8月 広報誌「マザープレス」第1号発行

10月 秋祭り開催

11月 「マザーアース開設25周年感謝の集い」開催

12月 広報誌「マザープレス」第2号発刊

平成31年 1月 埼玉県介護人材採用・育成事業者認定制度
ランク3（三つ星）認証

2月 彩の国あんしんセーフティーネット事業
社会福祉法人による就労支援事業開始

3月 福祉のこころを育む交流事業として
東原小音楽クラブと交流を行う

3. ケア報告

【特別養護老人ホーム】

平成30年度は、利用者に個人個人の落ち着ける場所や楽しみと生きがいのある生活を一緒に考え、安全な生活を送っていただけるよう検討した。人材育成では新人職員はチューター中心に見守りとアドバイスをを行った。また、中堅職員の希望を踏まえてOJTを行った。

- (1) 排泄介助では、ひとりひとりに合った方法を検討し、特におむつ内の蒸れと褥瘡を無くすため排泄用品の検討を行い継続し話し合った。
- (2) 今年度後半に褥瘡予防対策委員会を立ち上げ、月1回会議を開き、リスクが高い、又は褥瘡が出来ている利用者の「状態報告と個別の対応」を話し合い、介護課、看護課、栄養課、相談課で連携を図った。また、現場の職員が周知できるよう回覧の徹底をした。
- (3) OJT（施設内研修）では、介護未経験である職員にも理解してもらえるように、パート職員を含め新入職員を中心に「入浴事故防止」、生活の場での「事故防止」、認知症の方への「接遇マナー」「排泄介助」「口腔ケア」「食事介助」を行った。また、全職員に希望するOJTのアンケートをとったところ、「夜間の緊急時の対応」が多く挙げられていたので、職員が慌てることのないようマニュアルの見直しを行い、各部署に設置した。
その他にも「感染症予防対策」「高齢者虐待防止」「看取り介護」「誤薬事故発生防止」「人権擁護」「身体拘束適正化」などのテーマでOJTを実施し、職員の資質向上を図った。
- (4) 口腔ケアでは毎月、歯科医や歯科衛生士から助言と指導を頂くと同時に計画書を作成して実施した。
- (5) 毎月のお茶会は季節に合った和菓子を提供した。その他、たこ焼き風パンケーキ、スイートポテト、フルーツゼリー、デコレーションケーキ、クレープ、ホットケーキなどのケーキ類が人気で、季節により具材を変えて提供した。
また、ラーメン作りも好評で、利用者が自分の好みの具を入れて召し上がり、おかわりの声が出るほどだった。その他季節を感じていただけるような行事を行った。余暇活動では、アロマオイルを使い上下肢のマッサージや血行の促進効果のある足湯、拘縮や麻痺がある方には可動範囲内でリハビリを兼ねて健やかな時を過ごして頂いた。
- (6) 身体拘束適正化では、介護職員対象の研修を行い、職員の思い、乾燥・意見など、書面をもって提出してもらった。今後も継続し、全員で身体拘束に向けて、最大限の努力を行っていくようにする。
- (7) 感染症対策への理解
インフルエンザやノロウイルスなどの感染症は、近隣では流行していた。特にインフルエンザは猛威をふるっていたが、利用者に感染しなかったことは何より

だった。

今後も健康管理ガイドラインに従い、館内の除菌スプレーの使用、換気による空気内洗浄、基本的な手洗いとうがいなど、各自予防に努めていく。

(8) 介護ロボット「HAL」の導入について

やむなく離職せざるを得ない職員で、大きな部分を占める原因の一つが「腰痛」。当施設では、平成30年4月より委員会を立ち上げ、職員の腰への負担軽減等を図ってきた。今後は、利用者への装着を視野に入れて、運動機能の向上を目標としていく予定である。

(9) 施設内で死亡された方が15名。(看取り介護9名)

御家族が主治医から「今後は看取りの介護になります」との話を聞き、職員と共に看取りのためのケアプランを作成した。

「今日という日を大切に過ごされる」ために日課で予定されない生活を重視した。徐々に衰えていく利用者に合わせて看護、介護、栄養面で配慮しながら、時間を問わず、頻繁に訪問されるご家族には、相談員を中心に気持ちの整理と心の準備について援助した。泊まってついていてあげたいというご家族の気持ちに寄り添い、ご家族も泊まれるよう同じ部屋にベッドも置いた。

看取り介護が終わり、ケアの振り返りを行うカンファレンスでは、納得の出来る介護が出来たかどうか、今後、より良い看取りを提供していくには、どうすれば良いかを常に考えて向上を図った。

「終のすみか」としての役割を果たせるように、更なる精進をしていく。

【デイサービス】

(1) 生活援助

ご利用者の在宅生活の様子をご家族、ご本人、ケアマネジャーから話を伺い、また連絡帳を通して情報交換を行い、報告・連絡・相談を徹底する事により、安全で快適な生活を提案するよう努めた。

(2) 日常動作訓練(生活リハビリテーション)

高齢者に多い転倒、誤嚥などのリスクを考え、予防の意識を個々に持っていただけるように声かけを行い、体操やレクリエーションを通して身体機能の維持に努めた。

(3) 相談

ご利用者から相談がある時は良く話を伺い、必要に応じてご家族・ケアマネジャーとも連絡を図り、安心した生活を送れるように援助した。

(4) 送迎サービス

ご利用者の身体の状態や介護状況に合わせた送迎を行い、また車酔い等の個々の事情も考え、安全面にも配慮した送迎を行えた。雨天時は特にステップ乗車の際等に、滑らないように注意を払った。

(5) 入浴サービス

ご利用者、ご家族のほとんどの方はデイサービスでの入浴を希望されている。

ご家庭での健康状態、家族、ケアマネジャーからの情報を元に健康チェックを行い無理のない入浴を実施するように努めた。入浴中の事故を防ぐため、日頃のヒヤリハットを参考にして職員間の声かけ、ご利用者に対しての見守り・声かけなど安全面に配慮するようにした。又「楽しみとしての入浴」を目標に実施した。

(6) 食事

栄養バランスの他、粥食・荒刻み食・極刻み食・ミキサー食・代替食等、できる限りの要望が満たせるよう栄養士と検討し提供した。ご利用者の声を大切に厨房との連携も図った。朝の会で献立を紹介する事で、想像力をかき立てるようにしながら、脳の活性化を促した。

(7) 介護サービス

ご家族との状況交換を密にし、各ご利用者のADLに合った介護を提供した。ご利用者に対して画一的な対応でなく、個別の対応も取り入れた。

(8) 介護予防

運動器の現状維持、口腔機能の向上に関するサービスの提供を行い、要支援、要介護状態の改善や重度化の予防に取り組んだ。また、ご利用者ができる限り自立した生活を送れるような支援を心がけた。

(9) 通所介護計画

サービス担当者会議等で、ご利用者の日常生活の状況や希望を確認し、日頃のデイでの様子も考え、居宅サービス計画に沿っての通所介護計画を作成した。半年ごとの見直しを行い御家族、ケアマネジャーに計画内容を理解して頂いた。

(10) 趣味活動

各ご利用者のADL、興味に合ったプログラムを準備し、御利用者の楽しみになるよう提供した。主に紙工作、縫物、編物、色塗り、壁画の共同制作など手指のリハビリにつながるよう御利用者に参加して頂いた。楽しみにつながり、心身の活性になる内容を提供するように努めた。また、舞の会、3B体操、ちぎり絵、生け花、ハーモニカ、書道等の指導はボランティアの方についても継続してお願いしている。音楽療法、ハンドケア・ネイルアートを定期的に行った。

(11) 行事

四季折々の行事を企画して、季節の移り変わりを感じて頂き、心身の活性へとつなげていった。又「デイサービスを利用して楽しかった」と少しでも感じていただけるようにサービスを提供した。

(12) 職員教育

定期的な研修、意見交換の場（帰りのミーティング）を計画し、日々の業務、利用者へのサービス提供に共通意識をもって取り組んでいけるようにした。

今行なっていることが最高とは思わず、いつでも上を目指しながらサービスに勤しむように心掛けた。

【ショートステイ】

(1) 緊急時

ふじみ野市との契約で、緊急受け入れを行なっている。

平成30年度は2名の相談をいただき、1名の受け入れをした。

また、富士見市や川越市、地域包括支援センター、ケアマネからの急な依頼にも迅速に対応した。

(2) 利用状況

定員14名の中で、定期的にロングショートステイの方を確保していた。前年に比べて実人数はそれほど変わっていないが、利用日数は減っている。これはロングショートが減り、本来のショート利用が増えたためと思われる。

(3) 利用者確保

利用予約を待っているだけでお客さんが来る時代ではないということを再認識して、入所待機者のケアマネや病院等、当施設のショートステイを利用して頂くように声掛けを随時行なった。又、見学者に対しても、送迎を行なう等、利用者様、ご家族のニーズに沿った対応も行ってきた。

特養の方がなくなった場合、ロングショートの利用で埋めることが多いため、月に2～3名退所となるとロングショートの補充が追いつかず、利用者減になったと思われる。

4. 苦情報告

第三者委員の連絡先は、常時廊下の掲示板に貼り出している。第三者委員への連絡を入れる事はなかった。第三者委員に対して苦情の報告会を行い、ひとつひとつ説明し意見を頂いた。

第三者委員の方からは、大きなトラブルに発展していない、職員の方々も配慮していることが伺える、与えられた事だけ対応するのではなく周りの事も含めて対応することが大切、と意見を頂いた。また、情報共有をきちんとし、同じことが起きないようにすること、利用者はお客様という事を常に心に留め、利用者様に感謝の気持ちを持つ事。いつも新たに会う人だと思って対応すると良い、と助言を頂いた。些細な苦情も書類に残し改善を図ることでサービスの向上を図った。

苦情の内容は、職員の処遇方法、私物の管理方法、職員間の連携、身だしなみ介助が十分に行えていない事が挙げられた。

平素事故防止のためヒヤリハット委員会を中心に事故の原因やその背景を検討し、対策を考えているが、生活の場としての「身体拘束に依らない介護」には、リスクが常に伴っている。怪我をさせない責任を果たそうとすると、ご本人の自由を制限する方向にいつてしまう。かといって、マンツーマンでは見ていられない現実がある。

今まで通り事故を回避する対策は取るものの、防ぎきれない事故もありうるということを、施設とご家族の問題だけでなく、広く社会の方々にも理解して頂きたい。

「専門職（プロ）だろう」と言われ、怪我をさせないのが当たり前のような考えは、荷が重い。私たちは、どんな障害や問題がある方でもその方にとって、一番良い対応を考えようとすることに専門性を感じている。

今回「いかに事故を起こさないようにするか」も当然大事だが、それ以前に職員間の情報共有やマザーアースの職員である事をひとりひとりが自覚し 対応に当たるようにしなければならないと感じた。当施設のような「生と死」が隣り合わせの環境の場合、ご家族が感情的になるケースがある事に鑑みて、思いを受け止めていけるようにしていかなければならない。

第三者委員の方々には、苦情対応の難しさや当施設での真摯な対応を理解していただき、今後の改善についてはより一層努力するように助言をいただいた。

5. 安全衛生委員会

- ①安全面・衛生面に問題がないか施設内の定期巡回・点検を行った。
- ②産業医による環境のチェックを行った。
- ③職員の心の健康について
 - ・職員の精神的な問題について相談・受診などのサポートを行った。
- ④感染症対策について
 - ・手洗いうがいの徹底、個々の健康管理に関する呼びかけ・ポスター掲示を行った。
 - ・職員会議にて食中毒や感染症の研修を行った。
 - ・利用者のご家族にも、面会の際手洗いうがいの呼びかけを行い、館内に病原体を持ち込まないようにした。
 - ・インフルエンザの流行時期には、来訪者の体温測定を行い、感染防止に努めた。
 - ・施設におけるノロウイルス対策の講義に参加した。また、その内容を職員に対して研修を行い、徹底に努めた。
- ⑤健康診断を基にD・E判定の職員へ受診等を促した。

6. 特別養護老人ホーム

(1) 入所の状況

① 保険者別 (H31.3.31現在)

保 険 者	男	女	計
ふじみ野市	12	34	46
富士見市	0	0	0
三 芳 町	2	0	2
川 越 市	5	1	6
能 代 市	0	1	1
東松山市	0	1	1

② 年齢構成 (H31.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
65～69歳	0	0	0	0%
70～79歳	5	2	7	13%
80～89歳	13	17	30	53%
90～99歳	1	18	19	34%
100歳以上	0	0	0	0%

③ 平均年齢 (H31.3.31現在) (才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	96	72	82.5
女性	98	72	89.4

男女平均 (86.0)

④ 平均介護度の推移 (H30.4～H31.3)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	3.93	3.91	3.89	3.88	3.85	4.20	3.84	3.80	3.86	3.85	3.82	3.83

⑤ 要介護度入所者構成 (H31.3.31現在) 平均介護度 4.0

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
0	3	16	24	13	56

(2) 月別入退所者数

	前月末人員	本月入所者	本月退所者	本月末人員	
4月	56	3	4	55	入所者
5月	55	2	1	56	男性 9名
6月	56	1	1	56	女性11名
7月	56	3	3	56	
8月	56	0	1	55	退所者
9月	55	3	4	54	男性 7名
10月	54	4	2	56	女性13名
11月	56	0	0	56	
12月	56	2	2	56	* 退所理由
1月	56	1	1	56	→死去 16名
2月	56	1	1	56	(ホーム内での
3月	56	0	0	56	死去15名)
合計	668	20	20	668	

※ご家族や嘱託医の協力を得て、各職域の全力ケアのもと、ホーム内で

安らかなターミナルを迎えられて方たちが9名いらっしゃいました。

(3) 行事实施状況

①年間行事实施状況

月	日	行 事 名
4月	26	ホーム喫茶
5月	24	ホーム喫茶
6月	20	舞の会
	26	入所者健康診断
7月	3	少年剣道慰問
	26	ホーム喫茶
8月	22	舞の会
	23	ホーム喫茶
9月	17	敬老会
	27	ホーム喫茶
10月	10	なみき幼稚園マーチングバンド
	13	秋まつり
	25	ホーム喫茶
11月	10	大井小学校音楽会 鑑賞
	6・29	東台小学校 交流会
	22	ホーム喫茶
	27	舞の会
12月	9	東入間警察少年剣道 交流
	20	フルート演奏会
1月	15	舞の会
	24	ホーム喫茶
2月	19	舞の会
	28	ホーム喫茶
3月	14	東原小学校音楽クラブ発表
	19	舞の会
	28	ホーム喫茶

※「福祉の心を育む事業」では、今年も近隣の小中学校を対象として交流を行い、施設は学校図書を寄付する流れを社会福祉協議会と一緒に協力しながら、世代間交流を深めています。

② 週間のケア

	AM				PM		
	特 A	特 B	ショート	入 浴	特 A	特 B	ショート
月	※	※	遊ビリ 脳トレ・色ぬり	Aグループ	口腔アセスメント 将棋ボラ	包布交換	※
火	美容	美容	美容 車椅子清掃	Bグループ	居室水モップ	口腔アセスメント 居室水モップ	※
水	ちぎり絵	※	ちぎり絵	Cグループ	ミーティング	ミーティング	※
木	※	※	※	Aグループ	将棋ボラ トイレ清掃	トイレ清掃	ミーティング
金	習字教室	※	習字教室	Bグループ	回診 居室水モップ	回診 居室水モップ 遊ビリ	回診
土	浴室清掃	※	浴室清掃	Cグループ	環境整備	環境整備	環境整備
日	環境整備	環境整備	環境整備	希望者	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	ケアプラン記録 カラオケ喫茶 シアター 車椅子空気入れ

※ 毎日の業務

- ・入浴 利用者あたり 週二日 実施
- ・シーツ交換 利用者あたり 週一日 実施
- ・水分補給 毎日、午前、午後に実施
- ・部分清拭、眼脂清拭 2階フロア毎日実施
- ・口腔ケア 毎日実施 アセスメント週一回
- ・髭剃り、整容 火曜、金曜、日曜
- ・食堂清掃
- ・コミュニケーション

ショートステイ業務

ショート利用者の入退所業務
送迎、荷物整理、ベッドメイキングなど

③月間・年間実施表

月 間 実 施 表

舞の会・3B体操・学生ボランティア
レクリエーション・ホーム喫茶・体重測定
懇話会・コーヒータム・精神科
ナースコールチェック・お茶会

職員会議・リーダー会議・各部署会議
特養会議・給食会議
ホーム内研修・検便
はなみずきの会(虐待防止委員会)

年 間 実 施 表

利用者健康診断
職員健康診断
外部研修(OFF-JT)
施設内研修(OJT)

(4) 面会者状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
面会者数	158	156	157	190	169	129	134	146	202	158	144	154

年間合計 1,897人

月平均 158人

(5) 外出状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年度は、自宅への外泊が6名、ご家族との外出（食事・買い物）が5名、いらっしゃいました。その他、外出できない方もいらっしゃるので、マザーアースの庭でカフェの開催など、外気に触れる機会を設けました。

外泊・外出時には介護タクシーの手配や屋内の出入りがし易いようにスロープを貸し出すなど施設で協力できることを行いました。

面会に訪れるご家族は定期的に来られる方が主で、面会のない利用者の方も数名いらっしゃいました。

7. 在宅支援について

(1) 短期入所生活介護現況 (H31.3.31現在)

① 保険者別 (H31.3.31現在)

保 険 者	男	女	合計
ふじみ野市	5	12	17
富士見市	0	2	2
狭 山 市	0	1	1
三芳町	0	0	0
川越市	1	0	1
南魚沼市	0	1	1
合 計	6	16	22

② 年齢構成 (H31.3.31現在)

区 分	男	女	計	割合
40～69歳未満	0	0	0	0%
70～80歳未満	1	3	4	18%
80～90歳未満	4	5	9	41%
90～100歳未満	1	8	9	41%
100歳以上	0	0	0	0%
合 計	6	16	22	100%

③ 平均年齢 (H31.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	90	73	82.8
女性	98	71	92.9

男女平均 (87.8)

④ 平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	2.9	3.0	3.1	2.8	2.8	3.0	3.1	3.0	2.9	3.1	3.1	2.6

⑤ 要介護度別構成

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
3	6	7	3	3	22

(2) 平成30年度 短期入所 報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	17	19	17	22	21	22	23	17	16	18	22	22	236
延べ人数	184	210	198	281	271	296	312	279	245	247	245	348	3,116
平均利用日数	10.8	11.0	11.6	12.8	12.9	13.5	13.6	16.4	15.3	13.7	11.1	15.8	13.2

(月平均 実人員 19.6 月平均 259.6)

総利用者数 平成30年度 236人／月 延べ3,116人

上記の統計より、平均利用実人数はそれほど変わらず、月平均利用日数が減っていることから、ロングショートが減り、

通常のショート利用が増えたと思われる。

(3) 年間通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	32	31	33	37	36	37	36	34	32	31	32	36	407
延べ人数	329	358	364	394	417	371	411	368	311	323	323	371	4,340
介護予防 実人員	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	59
介護予防 延べ人数	22	28	25	28	30	26	31	34	32	31	32	36	355
1日平均(日中)	16.7	16.7	18.5	19.1	19.4	19.8	19.2	17.9	16.8	17.5	17.3	18.9	18.1

(4) 通所介護現況 (H31.3.31現在)

① 保険者別

保 険 者	男	女	合計
ふじみ野市	6	29	35
富士見市	0	2	2
三 芳 町	1	1	2
日 高 市	0	1	1
徳 島 市	0	1	1
合 計	7	34	41

② 年齢構成

区分	男	女	計	割合
40～70歳未満	1	0	1	2%
70～80歳未満	3	6	9	23%
80～90歳未満	3	18	21	51%
90～100歳未満	0	10	10	24%
100歳以上	0	0	0	0
合 計	7	34	41	100%

③ 平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	88	69	78.2
女性	98	71	85.7

④ 平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	2.01	1.88	1.96	1.87	1.84	1.94	1.89	1.78	1.85	1.8	1.85	1.99
要支援1・2	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

⑤ 要介護度別構成

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2	3	13	10	5	8	0	41

(5)通所介護報告書(H30.4月～H31.3月)

①利用延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	351	386	389	422	447	397	442	394	337	350	347	397
利用日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21
平均利用者数	16.7	16.7	18.5	19.1	19.4	19.8	19.2	17.9	16.8	17.5	17.3	18.9

②介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	4	10	8	9	10	8	10	9	9	9	7	7
要支援 2	18	18	17	19	20	18	21	17	17	18	17	19
要介護 1	110	106	99	128	144	108	131	138	107	119	118	133
要介護 2	106	132	146	147	154	138	150	123	114	112	118	127
要介護 3	78	83	79	84	94	90	86	58	42	51	55	61
要介護 4	35	28	31	26	16	27	44	49	48	41	32	50
要介護 5	0	9	9	9	9	8	0	0	0	0	0	0

③介護度別利用者実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
要支援 2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護 1	11	11	10	14	14	13	13	14	13	13	12	13
要介護 2	8	10	12	12	11	11	11	11	9	9	10	10
要介護 3	8	6	6	6	7	8	7	4	4	4	5	5
要介護 4	5	3	4	4	3	4	5	5	6	5	5	8
要介護 5	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
合 計	36	36	38	42	41	42	41	39	37	36	37	41

④新規利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マザー	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	1	1	8
おおい	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	4

※マザーは「マザー居宅」、おおい「包括おおい」、他は「他事業所」

⑤退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	5
老健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マザー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
他界	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

※他施設⇒他のデイ・デイケア・ショート等 マザー⇒ショート・入所 他⇒転居など

※他の施設にいかれた理由⇒リハビリがしたい(他のデイケア)・その他施設に入所したい(グループホームのデイ)

マザーの回数が増やせない(他のデイ)・送迎が難しくなった(他のロングショート)

⑥平均介護度・・・1.8

⑦一日平均・・・18.1人 月平均・・・388人

(昨年度 一日平均15.6人 月平均 337人)

(6) 通所介護年間行事

- 4月 マザーアース南庭にてお花見
 地藏院へしだれ桜 お花見
 牛乳寒天ゼリー (4/17)
- 5月 端午の節句行事 (5/3)・母の日行事 (5/11)
 バナナウォレット作り (5/28)
- 5月～6月 くら寿司へ外食
 (5/29・5/30・6/1・6/4・6/6・6/7)
- 6月 父の日行事 (6/14)
- 7月 七夕行事 (7/5・7/6)
 豆乳クリームチーズケーキ作り (7/18)
- 8月 夏祭り (8/21・8/22・8/23)
 抹茶プリン作り (8/14)
- 9月 敬老会 (9/18・9/19)
 饅頭作り (9/27)
- 10月 運動会 (10/15・10/16・10/17)
 ミニピザ作り (10/30)
- 11月 お買い物ツアー
 ふわふわパンケーキ作り (11/22)
- 12月 クリスマス会 (12/24・12/25・12/26)
 クリスマスケーキ作り (12/10)
- 1月 新年会
- 2月 節分行事 (2/1)
 バレンタインチョコフォンデュ作り (2/14)
- 3月 雛祭り行事 (3/1)
 道明寺風桜もち作り (3/18)
 地藏院へしだれ桜をお花見

- ・行事やおやつ作り等の様子をご家族にわかるよう、写真を撮り配布した。
- ・行事やおやつ作りは、季節感を味わえるよう意識しながら取り組んだ。
- ・誕生日会のプレゼントは、手作りの物を全員にお渡しした。
- ・来年度も利用者様に楽しんで頂き、笑顔が溢れるようなデイサービスを目指し、皆様に好評だった「外食・買い物」等、外出の機会を増やしていきたい。
- ・音楽療法、ハンドケア・ネイルアートにも力を入れていきたい。
- ・自立支援の一環として、食事の盛付や下膳等を利用者様が出来るようにしていく。

8. 施設内事故報告

平成29年度

平成30年度

・ヒヤリハット	78件	→	23件
・事故	111件	→	94件

- ・委員会会議は月に2回、14時30分から実施

月末の最終月曜日に当月の事故・ヒヤリハットの報告と対応策の検討

2週間後の月曜日にフィードバックとして、検討した対応策の結果報告を行ない、良ければ継続悪ければ再検討する。

- ・平成30年度の集計

① 事故 : 94件

骨折 : 5件

病院受診（打撲、裂傷など）：4件

② ヒヤリ：23件

③ 今後の課題

- ・会議の参加

勤務等の配慮があり、委員が出席できた。

委員が会議までに報告書のチェックをできないことがある。勤務内で時間をつくれるよう配慮が必要。

- ・記録

報告書の提出は職員に習慣づいてきたので内容の向上を目指したい。

日付、時間、状況内容、どう対応したかをきちんと記入する。

また、事故やヒヤリ行動前の巡視や入眠中もきちんと記録することも大切である。

→原因を突き詰めていくと、反省点、今後の対応対策が見えてくると思う。

- ・利用者の状態の把握

① 歩行時のふらつきや転倒、車椅子からのずり落ち、異食、利用者同士のトラブルなど、利用者一人一人が持っているヒヤリ行動を把握して、適切な対応ができるようにする。

② 担当部署以外の利用者に関しても情報を共有して状態を把握する。
とっさのヒヤリ行動に対応できるようにしていく。

③ 事故やヒヤリが起きてしまった時は、その日のうちに部署で対応策を話し合い、情報を共有する。

- ・職員の危機管理能力の向上

ヒヤリハットの話し合いの中で、職員一人一人の行動に関する危機意識を計り、低い場合は、危機管理能力を高めるようにしていく。

- ・施設全体で利用者の行動について考え、対応していく。

各部署で見守りが困難な時間帯は、見守りが可能な部署や課が、ヒヤリ行動のある利用者の見守りを行うようにしていく。

(1) 平成30年度事故・ヒヤリハット件数報告

(件)

	ヒヤリハット	事 故		ヒヤリハット	事 故
4月	4	8	10月	1	9
5月	2	9	11月	3	5
6月	2	7	12月	1	8
7月	3	10	1月	2	10
8月	2	5	2月	0	10
9月	1	3	3月	2	10

(2) 事故発生場所 時間

		17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
	玄関				2	2
	中庭					0
	南庭					0
	お風呂			4	1	5
	ベランダ					0
1階	居室	1	8	1	1	11
	廊下	3		4	1	8
	談話室		1	1	2	4
	トイレ	1	4	1	1	7
	食堂			1	2	3
2階	居室	6	8	7	8	29
	廊下	3	4	3	3	13
	トイレ		1			1
	食堂		2	5	1	8
	その他		ナースルーム 1		デイルーム 2	3
	計	14	29	27	24	94

(3) ヒヤリハット発生場所 時間

		17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
	玄関				1	1
	中庭					0
	南庭					0
	お風呂			2		2
	ベランダ					0
1階	居室	1	2		1	4
	廊下(談話室)				1	1
	トイレ					0
	食堂	1		1		2
2階	居室	1	3		5	9
	廊下		1			1
	トイレ					0
	食堂			1		1
	その他				2	2
	計	3	6	4	10	23

9. ボランティア受け入れ状況

ボランティアの活動は日常的に定着した。特に地域の子供たちの来所は、利用者の楽しみと生きがいになっている。

ボランティア活動状況

ちぎり絵ボランティア	毎週水曜日	3名
地域ボランティア	毎週木曜日	3グループ1～7人
習字ボランティア	隔週金曜日	2名
舞の会（特養）	第2水曜又は第3水曜	1名～3名
舞の会（デイ）	隔月 ※H30.11月にて終了	3名～4名
3B体操	第一月曜日 第四火曜日	1名
美容ボランティア	毎週金曜日	1名
介護相談員	月2回	2名
クラリネット演奏	月1回	1名
傾聴ボランティア	月2～3回	5名
生け花	月2回	1～2名
ハーモニカ	月2回	1名

- 学校関係・地域への協力・・・なみき幼稚園・東原小学校・東台小学校
大井小学校・大井中学校・三芳中学校
三芳東中学校

※傾聴ボランティア（むすび）とは・・・

利用者の方の傾聴を必要とする人のお話に耳を傾け、その気持ちに寄り添うことで心や身体を健康を増進。利用者が安心して過ごせるよう、活動して頂いている。

※介護相談員とは・・・

市町村が「事業の実施にふさわしい人格と熱意をもっていると認めた人で、一定水準以上の養成研修を受けた人」と定められている。

介護相談員は、まず利用者から苦情や不満等をよく聞いたのち、本人への助言や法人側と意見交換を重ねて問題のありかを提示し、サービスの質の改善につながる提案をします。また、行政機関の関与が必要な場合は市町村の事務局を通じて適切な対応策をとります。介護相談員は、サービス利用者・サービス提供者・行政機関の橋渡し役です。

10. 実習の受け入れ

実習期間はさまざまであったが、受け入れの際は担当者を置き、計画的な対応を行った。

6月4日～6月27日	立教大学	1人
6月4日～7月6日	文京学院大学、4年生	2人
7月2日～7月3日	三芳東中学校	6人
7月4日～7月6日	三芳中学校	6人
10月15日～10月31日	立教大学	1名

11. 生活保護世帯の子供への教育支援

月・水曜日の18:00～20:00を学習時間として、中学生（主に生活保護家庭）の教育支援の場として1階の食堂を提供した。支援員、ボランティアの参加も含め一日30人程の出席があった。それぞれに希望の進学先に進むことが出来た。

学習の他、クリスマスや年度末の集まりにはお菓子等の差し入れを行い喜んでいただいた。相互の信頼関係が構築できた。

12. 職員研修

(1) 外部研修 (職員の資質向上を図るため、施設外の研修に参加した)

4月	9日	H30年度接遇研修	2名
	10日	H30年度接遇研修	2名
	17日	H30年度「虐待防止研修」	1名
	20日	H30年度施設ケアマネジャー研修会	1名
	24日	H30年度管理者キャリアパス研修	1名
	25日	H30年度管理者キャリアパス研修	1名
5月	1日	H30年度スーパーバイザー養成研修	1名
	8日	H30年度スーパーバイザー養成研修 介護職員合同入職式	1名 8名
	9日	H30年度第1回医療と介護連携会議	1名
	15日	H30年度スーパーバイザー養成研修	1名
	22日	H30年度スーパーバイザー養成研修	1名
	24日	埼玉県老人福祉施設協議会「定期総会」「施設長会議」「情報交換会」	3名
	28日	埼玉県認知症介護基礎研修	1名
	29日	H30年度スーパーバイザー養成研修 H30年度経営戦略セミナー	1名 1名
	30日	H30年度経営戦略セミナー 労務管理者研修	1名 1名
	31日	H30年度第1回研修委員会	1名
6月	7日	彩の国あんしんセーフティネット事業 就労支援担当者養成研修	1名
	11日	中堅職員キャリアパス研修	1名
	19日	中堅職員キャリアパス研修	1名
	20日	給食施設研修会	1名
	21日	口腔ケア研修	1名
	25日	管理栄養士・栄養士研修会	1名
7月	2日	第1回社会貢献活動推進連絡会議	2名
	6日	彩の国あんしんセーフティネット事業 第1回ブロック会議・研修	1名
	13日	埼玉県老人福祉施設協議会 施設長研修会	3名
	20日	社会福祉法人監査研修 チームリーダーキャリアパス研修	1名 1名
	23日	チームリーダーキャリアパス研修 H30年度埼玉県老人福祉施設協議会「定期総会」「施設長・事業所長研修」	1名 1名
	24日	第1回介護保険事業所連絡会	3名
	25日	チームリーダーキャリアパス研修	1名
	30日	チームリーダーキャリアパス研修	1名

8月	21日	外国人介護技能実習生の受入れに関するセミナー	3名
	24日	埼玉県老人福祉施設協議会 相談員研修会	1名
	29日	社会福祉援助技術基礎研修	1名
		介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト事業「8月定例会」	2名
	30日	埼玉県老人福祉施設協議会 介護支援専門員研修会 地域福祉活動推進者研修	1名 1名
9月	4日	リースダイアパー工場見学会	2名
		埼玉県老人福祉施設協議会 女性リーダー研修会	1名
	5日	埼玉県新任介護職員定着支援事業 社会福祉援助技術基礎研修	1名 1名
	11日	第54回関東ブロック 老人福祉施設研究総会	4名
	12日	第54回関東ブロック 老人福祉施設研究総会 社会福祉援助技術基礎研修	4名 1名
	13日	介護ロボット導入・活用講習	1名
	25日	埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修	1名
	26日	なるほど納得！認知症研修 介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト事業「9月定例会」	2名 4名
	28日	認知症介護事業者全体研修会	8名
	29日	埼玉県介護福祉士会 介護福祉士実習指導者研修会	1名
	30日	埼玉県介護福祉士会 介護福祉士実習指導者研修会	1名
10月	5日	H30年度初任者キャリアパス研修	2名
	10日	福祉施設におけるノロウイルス感染対策研修会	1名
	12日	H30年度介護職員施設間交流研修	1名
	16日	H30年度スーパービジョン基礎研修	1名
	19日	H30年度初任者キャリアパス研修	2名
	20日	埼玉県介護福祉士会 介護福祉士実習指導者研修会	1名
	22日	H30年度埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修	1名
	23日	埼玉県老人福祉施設協議会 看護職員研修会	1名
	26日	埼玉県介護福祉士会 介護福祉士実習指導者研修会	1名
	30日	全国老人福祉施設研究会議 介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト事業「10月臨時定例会」 採用力アップ研修	2名 3名 1名
	31日	全国老人福祉施設研究会議 第1回埼玉県主任介護支援専門員レベルアップ研修	2名 1名

11月	5日	埼玉県若年性認知症支援セミナー	1名
		埼玉県老人福祉施設協議会 介護職員研修会	1名
	7日	人間福祉学科 実習研究協議会	1名
		H30年度介護記録等の書き方研修	1名
	8日	第5回地域包括ケアシステム推進セミナー	2名
		介護事業所人材確保研修	1名
	9日	養介護施設・事業所従事者向け高齢者虐待防止研修	1名
12月	12日	社会福祉法人管理者研修	1名
		地域包括・在宅介護支援部会研修会②	1名
		H30年度介護事業経営者セミナー「施設長の学校」	1名
	14日	デイサービス部会研修会	1名
	16日	H30年度初任者キャリアパス研修	2名
	20日	松下福祉基金事業 民間社会福祉施設永年勤続職員海外派遣研修	1名
	27日	生活相談員・介護支援専門員合同研修会	1名
		埼玉県空き家対策連絡会議「相続おしかけ講座」	1名
	29日	介護保険受領委任払い制度導入に係る説明会	1名
30日		21世紀委員会研修「～次世代を担う若手管理職の育成～」	3名
		H30年度初任者キャリアパス研修	2名
12月	3日	第5回埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修	1名
		埼玉県老人福祉施設協議会 調理員・栄養士研修会②	2名
	11日	H30年度第2回介護支援専門員等研修会	1名
		埼玉県高齢者福祉研究大会	6名
	13日	認知症地域支援推進員研修	1名
	14日	認知症地域支援推進員研修	1名
	26日	介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト事業「12月定例会」	3名
1月	8日	チューター養成研修	2名
	15日	生活困窮者支援に関する研修	3名
		彩の国あんしんセーフティネット事業 就労支援事業所連絡会	1名
	17日	高齢者虐待対応専門員フォローアップ研修	1名
	19日	H30年度第2回埼玉県主任介護支援専門員レベルアップ研修	1名
	21日	リスクマネジメント研修大人コース	1名
	22日	第2回介護保険事業所連絡会	1名
	24日	リスクマネジメント研修大人コース	1名
	26日	第6回埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修	1名
	28日	埼玉縣市町村認知症連絡会	1名
	29日	一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会「臨時総会」「第2回施設長会議」	4名
		二市一町高齢者虐待防止ネットワーク会議	4名

2月	1日	外国人介護人材の受入れに関する情報交換会	2名
	4日	地域福祉管理者研修会	1名
	11日	認知症介護基礎研修	2名
	15日	地域共生社会実現フォーラム	1名
	25日	H30年度第4回経営協セミナー	2名
	27日	介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト事業「2月定例会」	2名
	28日	認知症技術向上事業 打ち合わせ会議	2名
3月	14日	H30年度コミュニティソーシャルワーク実践交流会	1名
	18日	認知症介護フォーラム2018	1名
	27日	介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト事業「3月定例会」	2名

(2) 施設内研修(OJT)

4月	25日	高齢者虐待防止の為に I
	25日	身体拘束の廃止の為に I
	27日	入浴事故防止の為に I 浴室にて
	28日	夜勤前の職員研修
5月		
	30日	H29年度のヒヤリハット・事故報告書のまとめ(振り返り)
	30日	誤薬を防ぐには I
6月	18日	新人接遇
	27日	感染症対策について I 食中毒予防
	27日	感染症対策について I 麻疹とは
7月	20日	口腔ケアと食事介助 I
	21日	口腔ケアと食事介助 II
	25日	看取り介護について I
8月	3日	介護支援用ロボットスーツ(HAL) 安全講習会
	29日	人権擁護について I 人権擁護委員とは
	29日	褥瘡予防について I
9月	27日	口腔ケアに関する研修
10月	31日	感染症対策について II 看護課
	31日	感染症対策について II 栄養課
11月	27日	服薬誤薬事故発生防止の為に II
	27日	事故発生防止のために II
	28日	入浴事故防止の為に II 浴室にて
	30日	身体的拘束適正化 研修 介護職員対象 I
12月	26日	褥瘡予防について II
1月	21日	夜間緊急時オンコール対応マニュアル I
	25日	夜間緊急時オンコール対応マニュアル II
	30日	身体的拘束適正化 介護職員対象 I
	31日	看取り介護について II 看取りの流れと今年度の振り返り～
2月	26日	消防訓練
	27日	人権擁護について II 高齢者虐待防止のために
3月	15日	身体的拘束適正化 研修 介護職員対象 II
	18日	服薬介助の手順について III
	27日	苦情について H30年度のまとめ

13.健康管理

(1)健康管理処置状況

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検 温	754	839	766	795	825	723	769	831	862	802	731	801	9,498
血 圧 測 定	486	515	505	513	533	458	476	497	509	457	455	483	5,887
体 重 測 定	54	50	59	57	54	55	54	56	55	56	55	56	661
心 臓 貼 布 剤	0	20	30	36	42	30	31	30	31	31	28	31	340
湿 布 貼 布	0	10	8	12	8	6	7	0	12	35	9	2	109
常 時 投 薬	1488	1648	1621	1619	1590	1557	1583	1630	1704	1670	1537	1670	19,317
臨 時 投 薬	235	256	228	235	239	201	208	230	232	225	245	269	2,803
軟 膏 塗 布	339	364	367	378	371	322	321	348	345	361	329	339	4,184
レ シ カ ル	4	8	7	10	17	6	4	8	3	8	7	5	87
浣 腸	8	12	2	10	13	10	7	13	9	9	6	7	106
摘 便	2	1	1	0	3	1	1	0	3	1	1	2	16
点 眼 薬	227	261	274	512	345	330	251	302	306	345	340	403	3,896
外 科 的 処 置	85	103	123	143	169	173	101	94	173	172	156	171	1,663
点 滴	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
酸 素 吸 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
吸 引	0	0	0	0	1	0	0	10	1	1	0	0	13
注 射	0	0	1	2	0	0	0	57	0	0	0	0	60
針・灸・マッサージ	16	16	18	18	18	16	18	16	14	14	16	18	198
臨時処方箋あり	17	105	15	30	72	75	0	35	35	44	22	27	477
ショートステイ	173	186	183	258	247	271	276	254	225	224	219	319	2,835
入 院	46	15	0	47	68	87	89	20	1	31	3	35	442

(2) 通院・入院状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消化器外科	(男)												
	(女)												
耳鼻科	(男)		2										
	(女)					1							
外科	(男)												
	(女)					1					2		
内科	(男)				1		4		1	1	2		1
	(女)		1		3		1	2		1	1		
泌尿器科	(男)	3	1	2	3	7	3	3	4	3	3	5	4
	(女)												
整形	(男)	1	1	1									1
	(女)	1	3	2	5	3	4	4	3				1
皮膚科	(男)					2			1				1
	(女)												
歯科	(男)	1								1			
	(女)		2	1	2	2	2		3	1	1	3	2
脳外科	(男)	1	1			1						4	5
	(女)						1						
眼科	(男)				1			1					2
	(女)												
入院 月末現在	(男)	1			1	2	4	3			1	1	2
	(女)	2	1		1	1	3	4	1				

(3) 30年度 常食給与栄養摂取量

	エネルギー (Kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
マザーアース における 1人1日当りの 栄養必要量	1396	58	39	600	10	600	1.1	1.1	100
4月	1535	66	37	578	10.2	1011	1.73	1.08	125
5月	1547	66	37	582	10.2	1021	2.23	1.11	126
6月	1545	66	38	572	10.2	991	2.23	1.12	124
7月	1545	66	38	569	10.3	1010	2.24	1.11	125
8月	1543	65	38	591	10.1	1007	2.23	1.11	125
9月	1541	65	37	581	10.2	998	1.74	1.10	126
10月	1546	67	37	604	10.4	1001	2.25	1.12	128
11月	1545	67	38	587	10.2	1011	2.23	1.12	126
12月	1570	67	39	607	10.3	1019	2.25	1.15	125
1月	1565	68	39	577	10.3	966	2.24	1.14	125
2月	1558	67	38	587	10.3	1007	2.39	1.15	127
3月	1558	67	38	580	10.3	1016	2.24	1.13	128
年間平均	1550	66	38	585	10.3	1005	2.17	1.12	126

マザーアース 栄養課

(4)平成30度 行事食 実施記録

月 日	行事名	
5月5日	端午の節句	・赤飯・天麩羅 ・ブロッコリーゼリー寄せ ・果物(パイナップル) ・清汁(花麩、三つ葉) ・手作り抹茶ババロア
7月6日	七夕	・七夕そうめん ・天婦羅(キス、しし唐、しめじ) ・かぼちゃのそぼろあんかけ ・果物(メロン)・七夕羊羹
7月20日	土用の丑	・うなぎごはん ・冬瓜のカニ風味あんかけ ・清汁(花麩、みつば) ・果物(スイカ)
9月17日	敬老の日	・赤飯栗添え ・お口取り(サーモン、宝玉寄せ、紫花豆) ・天婦羅 ・煮物盛り合わせ ・清汁(生紅葉麩、三つ葉) ・果物(メロン、巨峰)
9月24日	十五夜	・鮭の月見蒸し ・南瓜のそぼろあんかけ ・味噌汁(はんぺん、わかめ) ・果物(甘夏缶) ・月見まんじゅう
11月3日	文化の日	・菊花寿司 ・ミートローフの照り煮 ・春菊のピーナッツ和え ・清汁(生紅葉麩、三つ葉) ・果物(柿) ・もみじ饅頭
12月22日	冬至	・赤飯 ・さけの柚香漬け ・南瓜のそぼろあんかけ ・清汁(里芋、わかめ) ・果物(みかん) ・おやつ(バームクーヘン)
12月25日	クリスマス	・ピラフ ・ミートローフの照り煮 ・白菜の柚子風味 ・ポタージュスープ ・ブトゼリー ・おやつ(ショートケーキ)
1月1日	お正月	・おせち料理(一の重:金目鯛の西京漬け・数の子・栗きんとん・伊達巻・黒豆煮豆・酢とり生姜) (二の重:里芋饅頭・紅白なます) ・赤飯 ・清汁(生梅麩、三つ葉、柚子) ・果物(苺/ミルクかけ)・甘酒
1月2日	お正月	・おせち料理(一の重:天麩羅・海老とくわいちぎり・山芋磯辺揚げ・スモークサーモン・紅鮭昆布巻・磯風) (二の重:海老と帆立の若菜蒸し・カリフラワーサラダ) ・鯛めし ・清汁 ・果物(白桃缶ゼリー)・甘酒
1月7日	七草粥	・七草かゆ(小松菜・大根・人参・椎茸・鶏肉・卵)・うずら豆佃煮・キャベツのお浸し
1月11日	鏡開き	・おやつにお汁粉
2月3日	節分	・豆ご飯 ・豚肉とキャベツのみそ炒め ・春菊の中華風和え ・いわしのつみれ汁 ・果物(苺) ・おやつ(甘納豆)
3月3日	雛祭り	・五目寿司 ・お雛様 ・菜の花の辛子和え ・清汁(生梅麩、三つ葉) ・果物(苺) ・おやつ 道明寺桜もち、甘酒

(5) 30年度反省点 栄養課

○利用者の身体・精神状態、食習慣に考慮した食事の提供

- ・嗜好調査を実施し、利用者・職員の意見を吸い上げ、新しいメニューを積極的に取り入れた。
今後も増やしていく予定。
- ・給食日誌の残食の欄を細かく設定し直し、何がどのくらい残るのが明確になるようにした。
残食の多いものに関しては、栄養課全体で原因を探り、調理法の見直しやメニュー変更を行っていく。
- ・栄養管理会議の議事録を栄養課職員全員で把握し、食事変更の経緯を知り、誤配膳を起こさないように努めた。

○他部署との連携

- ・月一回栄養管理会議を開催し、利用者に合った食事を提供できるよう他部署と意見交換を行った。
また、給食管理会議も同時に行うことで、行事食・選択食の説明や、新メニューについての利用者の反応、より良い食事の提供方法などを話し合う機会とすることができた。

○職員の質の向上

- ・栄養課会議の質を上げるため、開催時間を勤務後にし、集中して意見交換が出来るようにした。
今後もこの会議で選択食の内容や、栄養会議で挙げられた問題点等に対して職員全員で取り組める時間にしていけるようにする。
- ・人手不足の中で、知恵を絞り作業工程を省いたり、簡略化しながら、新メニューの提供も併せて行うことができた。

○調理技術の向上

- ・職員同士でよくできたものを参考にし、共有することができた。
- ・少ない人員でも業務が遂行できるよう、仕込み・調理時間を短縮できる食材を提案し、実際の献立に落とし込むことができた。
- ・冷蔵・冷凍庫のスペースの余裕がなくなる為、在庫チェックの頻度を増やしていった。
- ・新食材を使用する機会が増えているため、それらに合った調理法を共有していった。

○衛生・安全面

- ・消毒・殺菌の徹底し、利用者に食中毒・感染した方が出ることなく衛生管理ができた。
- ・仕込み方法を工夫することにより、包装されているものの混入を防いだ。
- ・調理器具・食材の扱いに注意を払い異物混入を防いだ。

○栄養ケアマネジメント

- ・利用者の好き嫌いや食事の感想などを聴くように努めた。
- ・今後ミールラウンドの回数や利用者と触れ合える機会・時間を作っていくためにも、日常業務の作業効率化を図っていきたい。

14.居宅介護支援事業所

(1)ケアプラン関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受付	6	3	10	3	2	4	7	1	6	6	3	2	53
実施件数	78	81	85	89	91	93	94	95	98	98	104	100	1106

(2)サービス利用状況(実人数)

通所介護	48	49	53	59	57	59	59	64	63	61	59	60	691
訪問介護	15	15	17	17	19	19	20	21	21	20	19	18	221
短期入所生活介護	14	13	12	14	13	14	17	11	14	12	17	18	169
短期入所療養介護	3	1	3	2	3	3	2	1	1	1	1	1	22
福祉用具貸与	46	48	48	52	52	54	53	52	54	55	58	56	628
訪問看護	9	9	9	9	10	10	11	12	12	11	12	12	126
通所リハビリ	17	19	19	19	18	19	18	20	19	19	18	19	224
訪問リハビリ	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	3	10
訪問入浴	4	4	4	4	4	5	6	6	6	5	5	4	57
計	156	158	165	176	176	183	187	188	191	186	191	191	2148
利用事業所数	49	51	47	49	47	46	49	51	55	55	53	53	605

(3)申請代行

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険 (区変・更新)	6	2	1	5	4	1	1	5	2	7	0	6	40
住宅改修	0	0	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1	9
福祉用具購入	1	1(3)	0	2(3)	1	1	1	0	0	1	0	0	8(※11)
計	7	3	1	8	7	3	2	6	3	9	1	7	57

※福祉用具購入品の数

- ・平成30年度は、実地指導を受けましたが、特に目立った指導・注意事項もなく、今後も事業の適正な運営に努めるよう言葉を頂きました。
- ・平成30年度は、居宅としては珍しく職員の出入りが多い年度となりました。
年度初めは、ケアプラン件数が少なくなっていました。年度末には件数も増え、職員体制も落ち着きました。
- ・平成30年度は、ターミナルケースを受けるようにして医療従事者との連携を図るよう努めました。
- ・毎年課題に挙げているが、パソコンの入力、書類作成等がたまってしまいう状況なので、早めの入力、作成を心掛けていきたいと思ひます。

15.地域包括支援センターおおい

(包括的支援事業実施業務実績報告書)

1 相談

○相談件数 (単位:件)	時間内	時間外
①来 所	143	1
②電 話	2,673	51
③訪 問	824	5
④その他	49	0
合 計	3,689	57

※その他とは、電子メール・FAX等の場合。

○相談者の区分 (単位:件)

①本 人	1,216
②家族・親族	1,104
③介護支援専門員	350
④介護サービス事業所職員	765
⑤行政関係者	343
⑥関係機関	403
⑦民生委員	74
⑧近隣・知人	29
合 計	4,284

※複数可

○相談内容 (単位:件)

①介護相談		197
②介護保険サービス		2,548
③介護保険の地域支援事業		153
④保健・医療・福祉		663
⑤権利擁護		62
⑥安否確認		12
日常生活全般	⑦生活面	323
	⑧家族	24
	⑨金銭面	40
	⑩住居	42
	⑪近所・地域	18
	⑫その他	55
	合 計	

※複数可

○利用者基本情報作成件数(単位:件)

作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

○介護予防事業支援表作成件数(単位:件)

介護予防サービス計画費作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

(単位:件)

介護予防ケアマネジメント費作成件数	
A-要支援 1	254
A-要支援 2	403
A-事業対象者	99
C-要支援 1	1
C-要支援 2	0
C-事業対象者	0

2 権利擁護業務

○相談件数 (単位:件)

	新規	継続
成年後見制度(再掲)	5	8
消費者被害(再掲)	4	0
困難事例(再掲)	3	9
虐待対応	①相談件数(再掲)	4
	②訪問件数(再掲)	1
	③立入につなげた件数	0
	④やむを得ない措置での入所及び養護老人ホームでの入所に至った件数	0

○内容(虐待)

(単位:件)

虐待	身体的虐待	7
	経済的虐待	0
	心理的虐待	2
	性的虐待	0
	介護放棄	0
合 計		9

※複数可

3 ネットワーク構築(包括主催)

(単位:回)

①地域連携に係る会議	0
②多職種連携に係る会議	4
③ケアマネ支援に係る研修等	2
④担当者会議	0
⑤出前講座実施	14
⑥一般介護予防事業(びんしゃんクラブ)	16
⑦地域介護予防活動支援事業	0
⑧自主グループ	217
⑨訪問型介護予防事業	0
⑩オレンジカフェ運営	6
⑪その他	1
合 計	260

⑦を兼ねる自主G

※①～⑤⑪は「活動報告書」

⑥⑦は「地域介護予防活動実勢報告」

⑧⑨⑩は各種報告書を添付する

5 広報活動等

(単位:回数・延人数)

①センターの広報	0	0
②権利擁護に係る広報	0	0
③交通安全アドバイス	9	245
④介護予防の普及・啓発	3	48
⑤その他	1	24
合 計	13	317

※活動報告書を添付すること。

4 会議等への参加

(単位:回)

①介護保険サービス担当者会議	0
②地域関係者主催の会議	0
③市主催地域ケア会議	12
④地域密着型運営推進会議	4
⑤権利擁護に係る会議	9
⑥介護予防事業関係	35
⑦その他	54
合 計	114

※活動報告書を添付すること。

16.平成30年度 あんしんセーフティネット事業 報告

支援対象者の状況	主な支援内容
① 新座市在住 55歳 男性 独居 体調不良により受診したところ容態悪くそのまま入院となる。 長期入院となりライフラインの支払いができず滞納となり停止している。 退院が決まったが、入院費を全額支払うことも難しい。 預金もなく支払いが出来ない。	電気 ガス
② ふじみ野市在住 父70歳、長男50歳、次男45歳 3人世帯 家計は長男と次男の就労収入で賄っていたが、次男が腰痛により仕事が出来なくなり離職。世帯の収入が減り、家賃は2ヶ月滞納し、退去勧告が出ており、電気は明日までに支払わないと止められてしまう。 次男は状態が落ち着き、来週より就労することが決まっているが、すぐの収入はない。住居確保のため家賃の支払いを優先したい。その為、電気代に充てるお金がない。また、父の携帯電話が止まっている。 長男、次男が仕事に出かけると父が一人になってしまい緊急時の連絡手段がない。	電気 携帯電話
③ ふじみ野市在住 夫72歳 妻82歳 夫婦世帯 年金暮らし。妻がパニック障害の診断を受け、年々状態が酷くなり夫が仕事に出られなくなってからは、家賃をはじめ様々な支払いが滞るようになった。電気停止の勧告が届き支払期限が過ぎている。 ふじみ野市自立支援機関と連携し家計相談等の介入あり。	電気 携帯電話
④ ふじみ野市在住 46歳 男性 独居 就労していたが、経営会社上層部からパワハラ、セクハラの疑いをかけられ出勤できなくなった。給料が未払のうえ、接待費等も立替ているものも多いが支払われていない。預金を切り崩して生活していたが、もともと余りなかったため、生活に行き詰った。次の就職先が決まっているが、交通費がないため仕事にいかれない。また、ガス代の未納により停止勧告、家賃滞納により退去命令が出ている。	ガス 家賃 交通費
⑤ ふじみ野市在住 夫43歳、妻20歳 長女生後1ヶ月 3人世帯 夫は派遣での就労。何とかやりくりしていたが、社宅の賃貸物件を自分の名義にした事で変更手続きにお金がかかってしまった。そのため赤ちゃんの粉ミルクとおむつが買えない。	冬物こども服 (衣類バンクより)
⑥ ふじみ野市在住 39歳 男 独居 しばらく仕事についていなかったが、支援してくれている方が居たため生活できていた。喧嘩別れをしてしまった事で支援が受けられなくなり生活できなくなる。光熱費の滞納あり、既にガスが止められている。 ふじみ野市自立支援機関と連携し家計相談、就労支援等の介入あり。	電気 ガス